

まちだ納税貯蓄組合連合会 優秀賞

『税のありがたみと大切さ』

町田市立忠生中学校 3学年 条 さくら

はじめは「税金」と聞いても、私はあまりいいイメージを持ってませんでした。だって、何を買うときも税金、税金といわれてお金をたくさんとられているように感じるし、家ではお母さんが「税金高いな」と言っているのをみたことがあります。「どうしてこんなにとられるの」、「本当に必要なのか」と、なんとなくマイナス的な印象でした。そもそも税金とは何なのか、どこに使われているのか、私は全然知りませんでした。なのでこの税の作文をきっかけに、自分の身の回りで使われている税について調べてみることにしました。

最初に気がついたのは病院に行ったときのことです。私はよく皮膚科に通っていますが、毎回のお会計は2000円程度です。なぜこんなに安いのだろうと思っていました。そこで調べてみると、医療費には国の保険制度が使われていて、その仕組みを支えているのが税金だと分かりました。私の住んでいる地域では小・中学生までの医療費助成制度があり、その費用の多くが税金でまかなわれているそうです。今までずっと当たり前だと思っていた2000円のお支払いは、ほんとにはたくさんの人が納めた税金のおかげだったと知り、ありがたさを感じました。他にも、毎日通る道やみんなと遊べる公園

などの公共施設も税金で整えられていました。安全に道が歩けるのも、信号機や街灯がきちんと整備されているのも全て税金のおかげでなりたっていました。最近では、私の家の近くで大規模な水道工事が行われ、数週間道路が通れなくなりました。そのときは「工事って大変だな」と思うだけでしたが、税金について調べて振りかえてみると、安全な水が毎日使えるのは、あの工事や税金のおかげなんだと気づけました。何気なく普段使っている水や道路も見えないところで支えられていることを実感することができました。そして、今年から私の学校では給食が始まりました。去年までお弁当を持っていたのが当たり前でしたが、今では毎日温かく栄養バランスのとれた食事を食べられるようになりました。私の学校では給食費が無償化されていて、材料費や調理のための費用の多くが税金でできていることが分かりました。税金によって支えられていると知り、改めて感謝の気持ちが大きくなりました。

こうして身近にある税金を調べてみると、私たちの生活を守りよくするために、沢山支えられていることが分かりました。税金はまだまだ他にも毎日の学校や、高齢者や障がいのある人を支える制度や、救急車や警察などももっと支えていました。最初は取られるマイナスな考えでしたが、今では社会をよくするために大切なお金というプラスな考えに変わりました。これからは税金の大切さとありがたみを忘れず生活していきたいです。